

**第2期東郷町人口ビジョン・
まち・ひと・しごと創生総合戦略
－令和3年度進捗状況－**

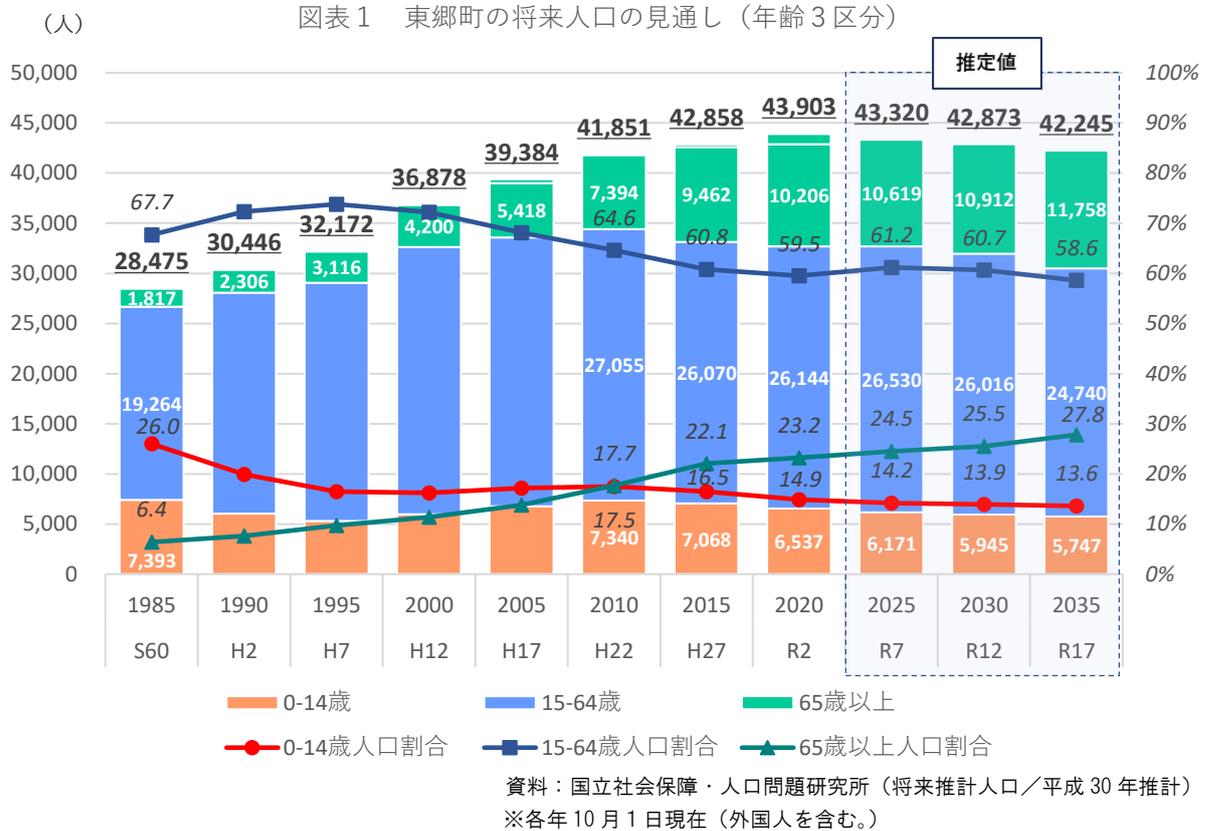
令和4年12月

東郷町

1 本町の人口の動向

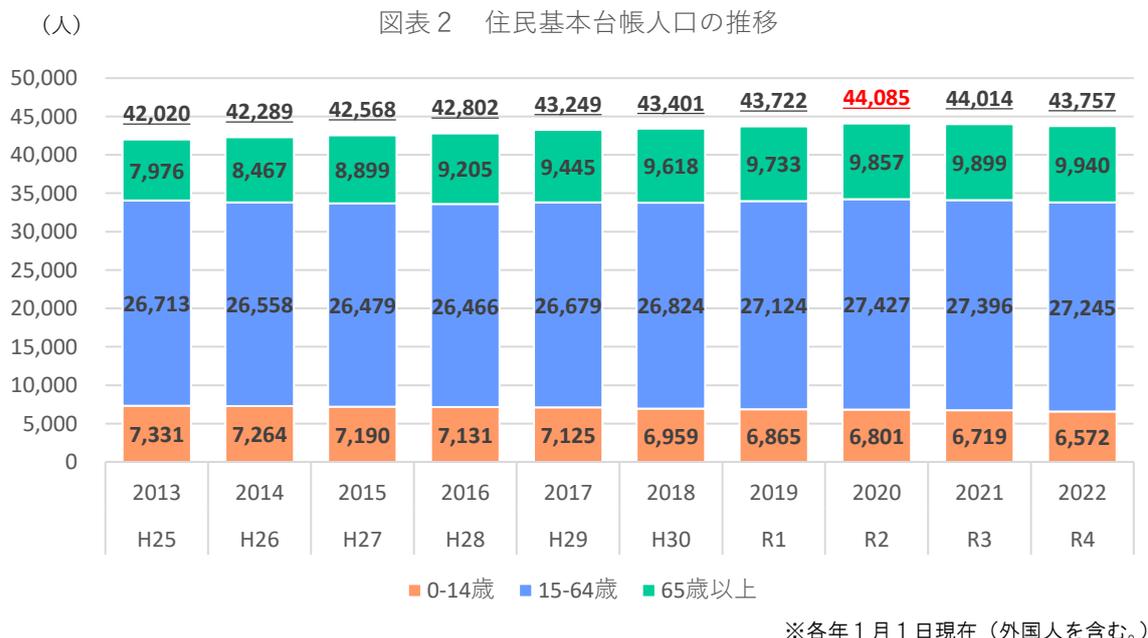
(1) 総人口の推移 (国勢調査)

本町の総人口は、1985年から2020年までの間に約1.5倍の43,903人まで増加しています。



(2) 直近10年間の推移 (住民基本台帳)

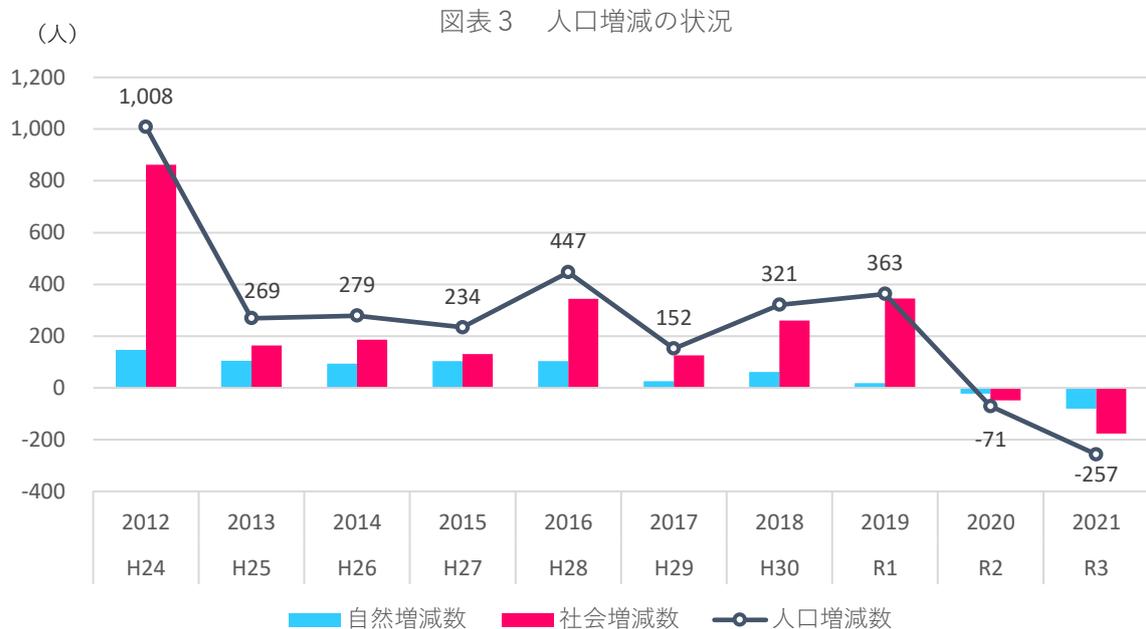
本町の住民基本台帳人口は、2013年から2020年まで増加しています。2021年から総人口と生産年齢人口が減少し始め、2022年には総人口が前年から257人減少しています。



2 人口動態の状況

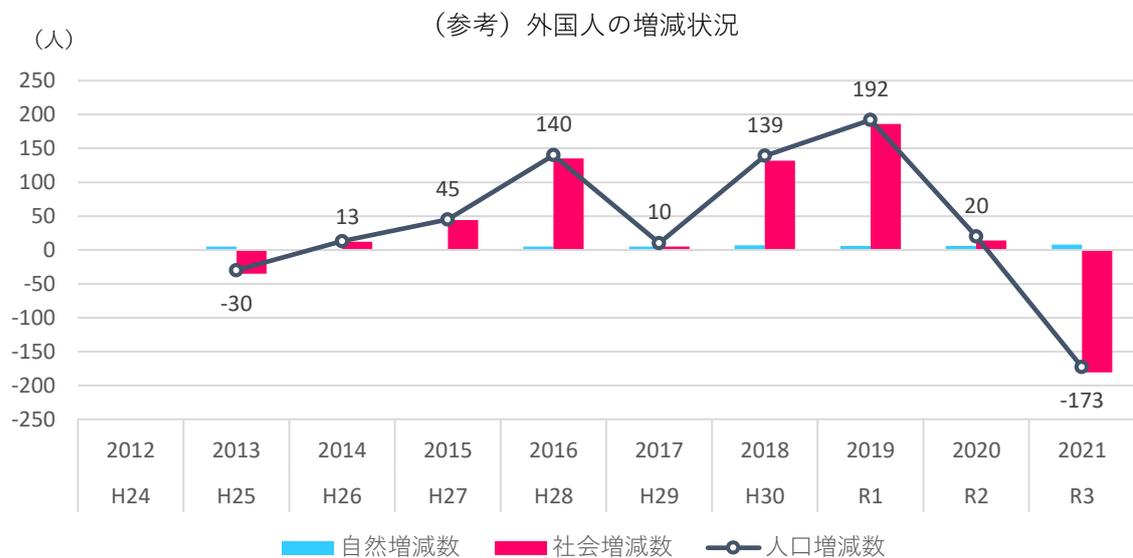
(1) 人口増減の状況

人口増減数は社会的・経済的要因によって各年増減しており、直近10年を通してみると、人口増が続いていましたが、2020年から人口減となりました。



資料：総務省「人口動態（市町村別）」

(参考) 外国人の増減状況

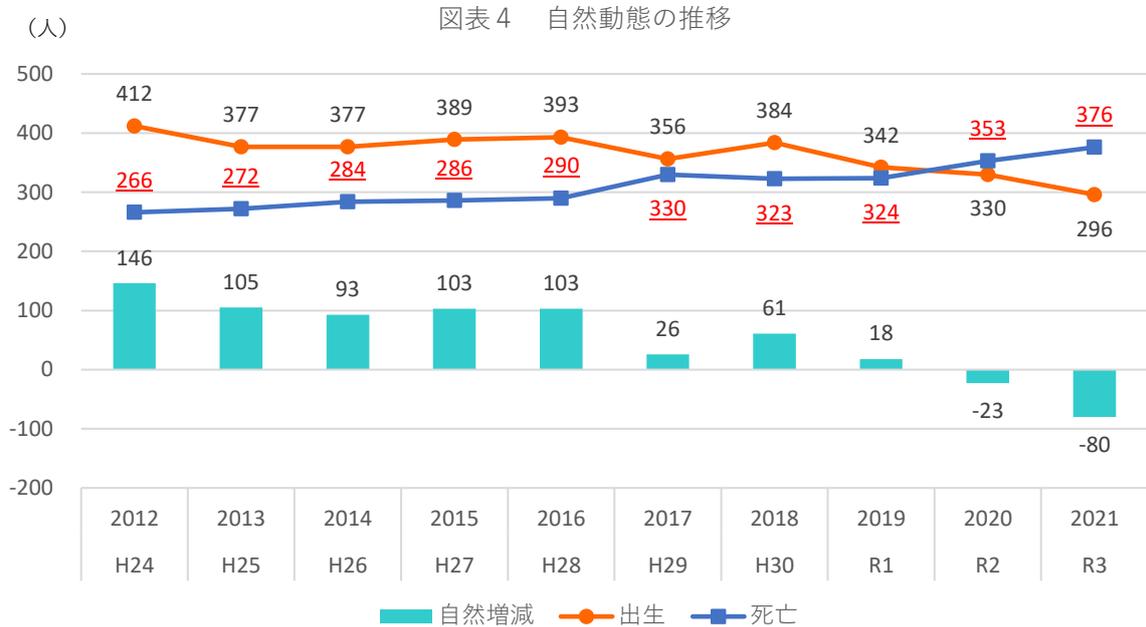


※2012年は、2013年以降と集計区分が異なるためデータなし

資料：総務省「人口動態（市町村別）」

(2) 自然動態の推移

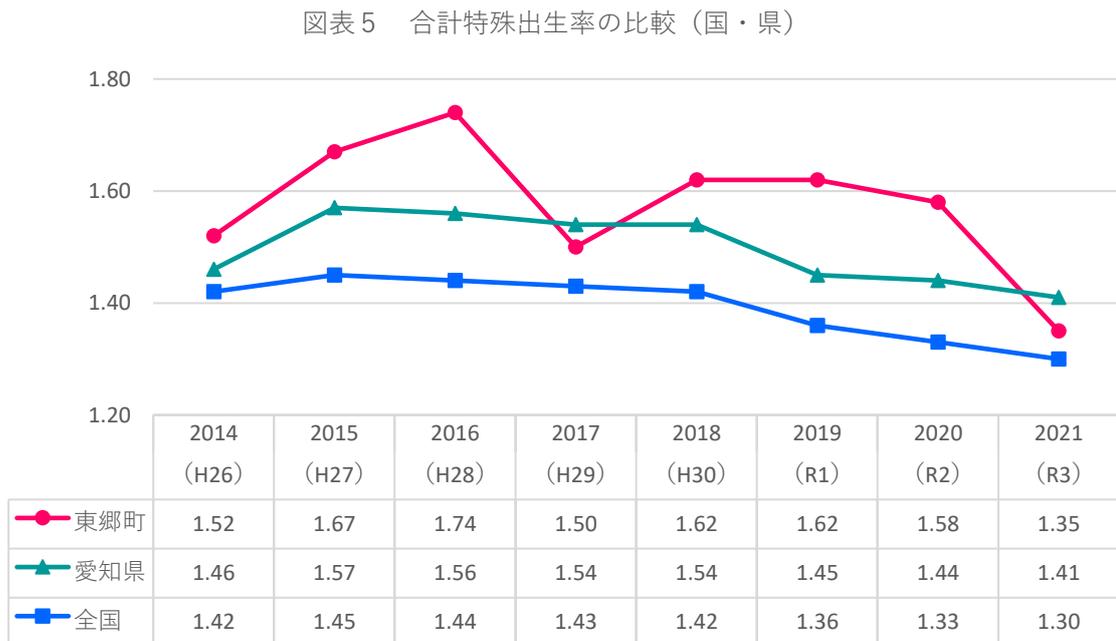
本町は一貫して出生数が死亡数を上回っておりましたが、2020年から出生数が死亡数を下回り、2021年は出生数296人、死亡数376人で80人の自然減となっています。



資料：総務省「人口動態（市町村別）」

(3) 合計特殊出生率の推移

本町の2021年の合計特殊出生率※は、1.35と前年より0.23ポイント減少し、全国平均は上回るものの4年ぶり（2017年以来）に愛知県平均を下回りました。

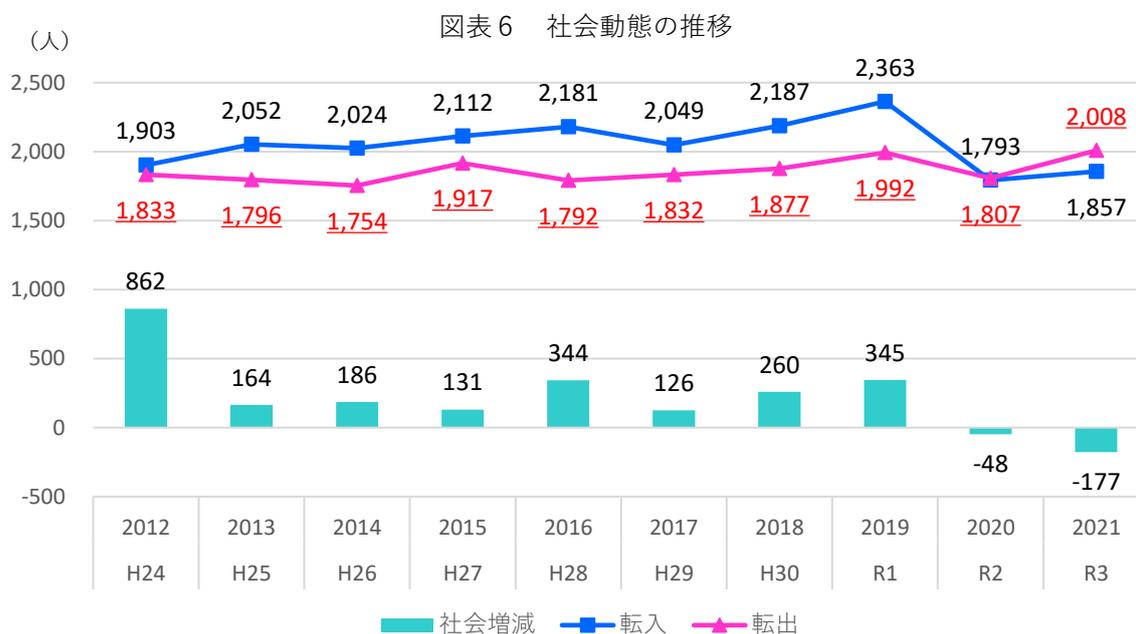


※15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した指標であり、1人の女性が一生の間に産む平均の子どもの人数を表わしたもの。

資料：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」

(4) 社会動態の推移

2021年の転入者数は1,857人、転出者数は2,008人となっています。
2020年から2年連続で社会減となりました。



※社会増減にはその他の移動を含む。

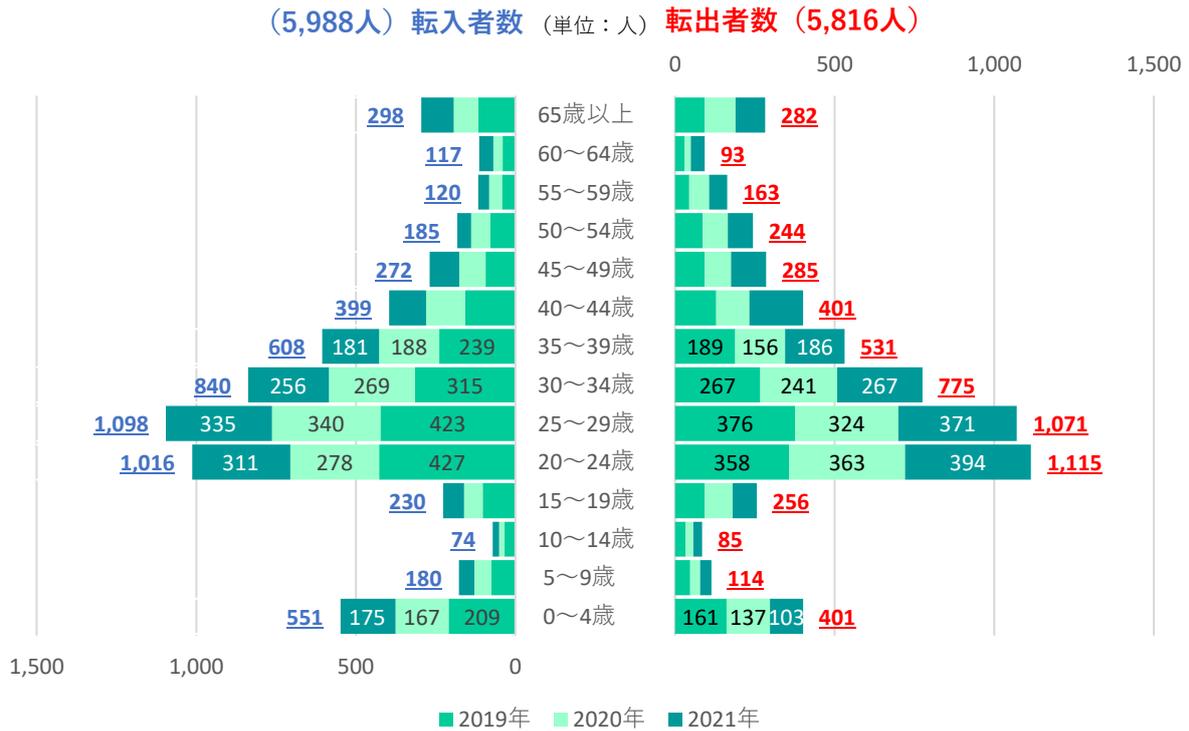
資料：総務省「人口動態（市町村別）」

(5) 直近3年間の転入出者数の状況

本町の2019年から2021年までの3年間の転入出者の累計人数は、転入者5,988人、転出者5,816人で、純移動が172人増となっています。転入・転出ともに20歳から29歳の年代の移動が多くなっています。

また、純移動数を年代で比較すると、最も増えたのが「0-4歳(150人増)」、最も減ったのが「20-24歳(99人減)」となっています。

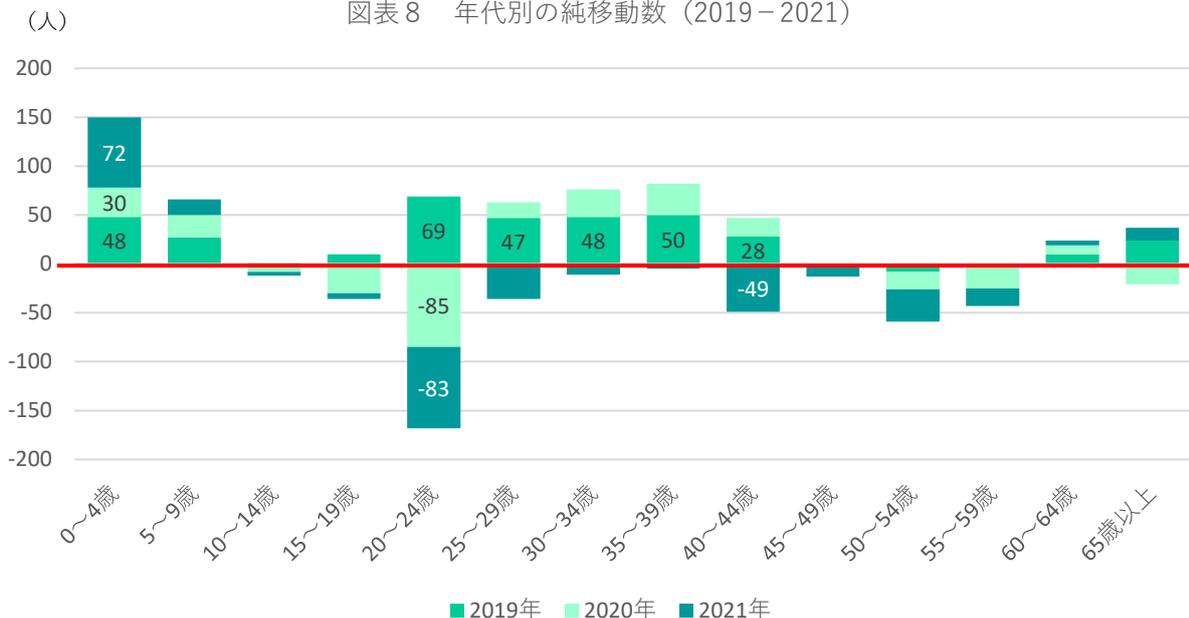
図表7 直近3年間の転入出者数(2019-2021)



※外国人を含む。

資料: 企画情報課「住民基本台帳」

図表8 年代別の純移動数(2019-2021)



※純移動数はその他の移動を含まないため、社会増減の合計と一致しない。

資料: 企画情報課「住民基本台帳」

3 住宅地平均価格の比較

(1) 東郷町と近隣市の住宅地平均価格の比較

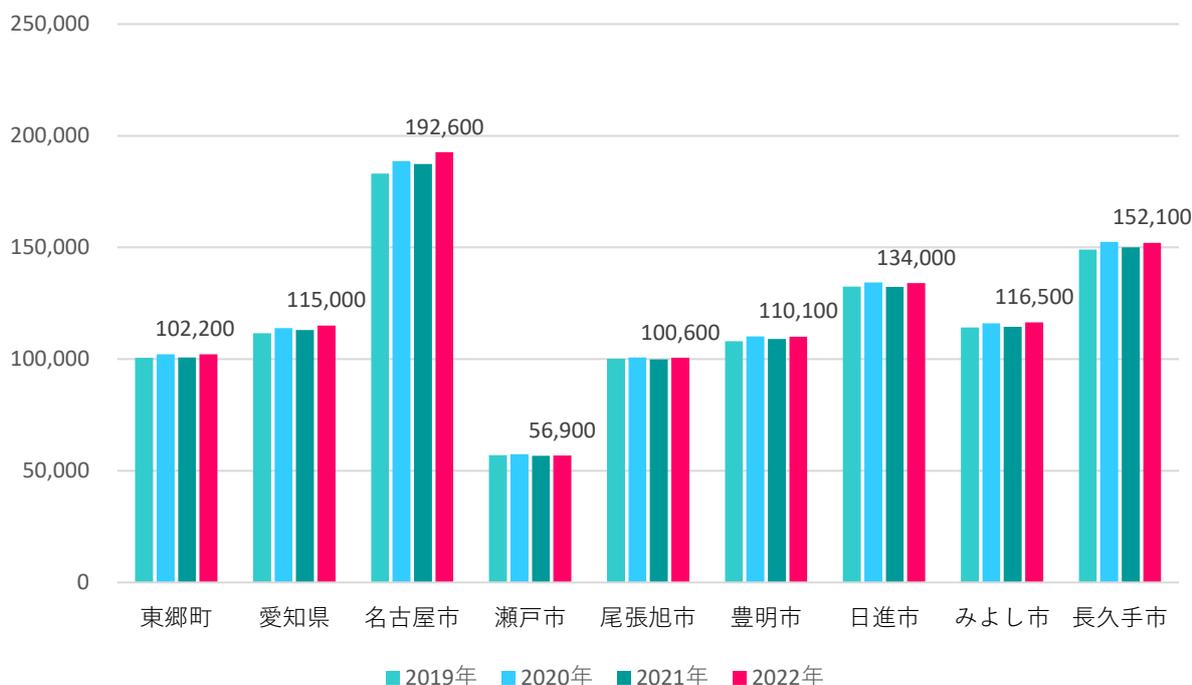
令和4年(2022年)地価公示では、東郷町の住宅地の平均地価は102,200円/㎡で、伸び率は本計画を策定した平成31年と比較し、101.6%上昇しています。

(単位：円/㎡)

	平成31年 2019年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	令和4年 2022年	伸び率 (H31→R4)
東郷町	100,600	102,100	100,800	102,200	101.6%
愛知県	111,600	113,900	113,000	115,000	103.0%
名古屋市	183,100	188,700	187,300	192,600	105.2%
瀬戸市	57,000	57,500	56,700	56,900	99.8%
尾張旭市	100,100	100,700	99,900	100,600	100.5%
豊明市	108,000	110,200	109,000	110,100	101.9%
日進市	132,500	134,300	132,300	134,000	101.1%
みよし市	114,200	116,100	114,400	116,500	102.0%
長久手市	149,000	152,500	150,000	152,100	102.1%

(円/㎡)

図表9 近隣市との住宅地平均価格の比較

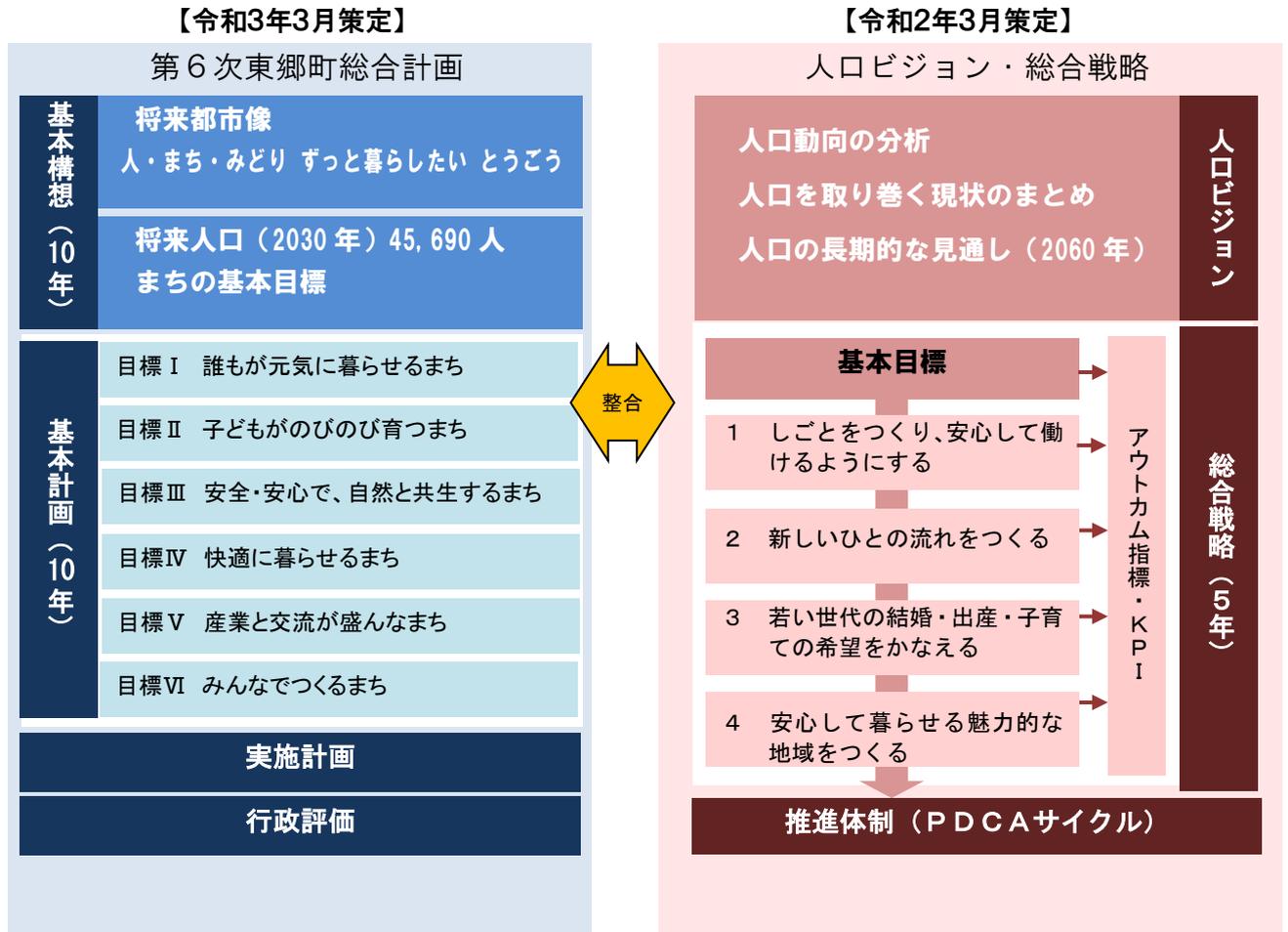


資料：愛知県「地価公示 市区町村別・用途別標準地数、平均価格、平均変動率」住宅地平均地価額

基本目標別進捗状況

1 総合戦略の位置付け

■第6次東郷町総合計画と人口ビジョン・総合戦略との関連イメージ



2 基本目標と施策

「人口ビジョン」で定める本町の将来展望の実現に向けて、「まち」「ひと」「しごと」の3つの視点を踏まえて、「総合戦略」の推進に向けた4つの基本目標を掲げます。その基本目標に「数値目標」を設定し、その実現のための具体的な施策を提示します。さらに、取組の進行管理として、施策ごとに「重要業績評価指標（KPI）」を設定します。

なお、基本目標に対する数値目標及び施策に対する重要業績評価指標（KPI）の現状値は、特に記載のない限り、平成30年度（2018年度）時点の値とし、実績値は、令和元年度（2019年度）時点の数値、目標値は、令和6年度（2024年度）時点の数値とします。（ただし、「町民の割合」といった指標については、目標年次に一番近い住民意向調査等の数値とします。）

【戦略の推進体系】

人口ビジョンで定める将来展望の実現

視点	基本目標	施策
まち・ひと・しごと	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする	(1) 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める (2) 創業支援体制を構築する (3) 地産地消による農業の活性化を目指す (4) 全世代・全員活躍型のまちづくりを推進する
	2 新しいひとの流れをつくる	(1) 魅力あるまちの中心核をつくる (2) まちの魅力の発信と交流・定住を促進する (3) ふるさと納税を活用して地域活性化を図る
	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1) 妊娠・出産を支援する (2) 安心して子育てができる環境をつくる (3) ワーク・ライフ・バランスを推進する
	4 安心して暮らせる魅力的な地域をつくる	(1) 公共交通の基盤整備・機能強化を進める (2) 郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む (3) 地域の安全・安心を強化する (4) 産官学等の連携を強化する (5) 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

3 各指標に対する判断基準について

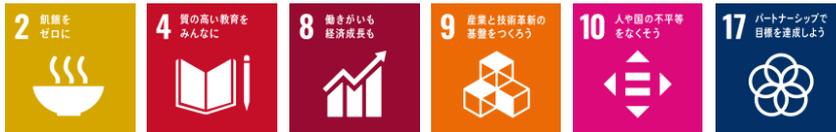
指標の最新の実績値が把握できないものは、「－」で示しています。

指標の「状況」は、指標の最新の実績値が現状値（直近数値）に対してどのような状況にあるかを次のとおり示しています。

状況	判断基準
	目標値達成に向け、向上しているもの
	目標値達成に向け、横ばいであるもの（変動率±0.5%以内）
	目標値達成に向け、低下しているもの

基本目標1

しごとをつくり、安心して働けるようにする



数値目標

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
町内従業者数※1 (東郷町内の事業所で働く人の数)	12,704人	—	16,814人	14,700人	➔
東郷町内で働く町民の数※2	6,082人	—	6,283人	6,300人	➔

※1 経済センサス（現状値：H28 目標値：R 6直近）

※2 国勢調査数値（現状値：H27 目標値：R 7）

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める

◆具体的な施策

施策	内容
①新たな産業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ●東郷町企業立地促進条例による奨励措置等により、新たな企業の立地を促進します。 ●新市街地候補ゾーン（工業系、研究開発系）を中心とした土地利用を促進します。
②町内企業の拡張・育成	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模企業等を対象に企業の拡張や人材の育成を支援し、既存産業の強化を図ります。
③高校・大学との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ●高校・大学における人材育成の一環として、協働のまちづくりを推進し、関係人口の創出・拡大につなげます。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
新規誘致企業数(累計)	10社	13社	14社	13社	➔

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
東郷町企業立地促進条例や東郷町導入促進基本計画等に基づき、該当事業者への支援を実施しました。	東郷町商業施設等立地促進条例を制定し、当該地区における沿道サービス地区等に新たに新店する商業施設、医療施設又は宿泊施設の事業者に対して奨励金等を交付します。
町内事業者を訪問し、情報収集を行いました。また、中小企業者の持続的な発展を確保するために、小規模事業者持続化補助金を交付し町内中小企業者支援を実施しました。	継続します。
LivR TOGO まちの窓口での名古屋柳城大学生による絵本読み聞かせ会や愛知淑徳大学生によるTikTokを活用した動画投稿イベントを開催し、本町の魅力発信を行いました。	愛知大学や昨年度に引き続き名古屋柳城大学等の大学との連携を進めることで、大学における人材育成を支援するとともに、若年層の柔軟な視点を効果的なシティプロモーションに活用していきます。

創業支援体制を構築する

◆具体的な施策

施策	内容
①新たな産業を担う創業者の育成	●創業者に対する相談・支援体制の強化を図り、創業者の新たなビジネス創出を支援します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
新規創業者数(累計)	37人	64人	82人	70人	

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
豊明、日進、長久手と共同で策定している創業事業支援計画に基づき、支援を実施しました。	継続します。

地産地消による農業の活性化を目指す

◆具体的な施策

施策	内容
①担い手及び新規就農者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●新規就農を促進するため、就業の準備や就農に必要な技術・経営力の習得を支援します。 ●農業の活性化を図るための農学校やふるさと農園等の取組を継続し、農業の担い手を育成します。
②特産品の商品化支援	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物等の地域資源を活用した、産官学の連携による新たな特産品の開発を支援します。
③地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●農産物の直売や給食等での町産食材の使用、各種行事等を通じた地産地消に対する意識の高揚を図り、地産地消を推進します。

◆K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
認定農業者数 及び認定新規就農者数	7人	8人	8人	10人	➔
商品開発数(累計)	22品	22品	23品	26品	➔

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
新規就農者の相談に加え、農業所得向上のため、付加価値の高い有機農業の推進を行いました。	有機農業の拡大に向け、有機農業実施計画を策定し、オーガニックビレッジ宣言をします。
東郷町商工会に特産物開発の補助を行うことで町の特産物である「愛・愛ブランド」の普及と新たな特産品の開発を支援しました。	継続します。
町産農産物の給食利用や軽トラ市の開催により、地産地消の促進を行いました。	継続します。

全世代・全員活躍型のまちづくりを推進する

◆具体的な施策

施策	内容
①全世代・全員の活躍の場づくり	●シルバー人材センターや町民活動団体等と連携し、高齢者や障がいのある方等の就労や社会参加の機会の拡充を図ります。
②高齢者同士や子ども達との交流推進	●高齢者同士や、子どもと高齢者の世代間交流を推進します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
東郷町シルバー人材センター会員就業率	72.9%	69.6%	72.5%	88.9%	↓
住民参画や協働の主体として町政に関わりたいと思う町民の割合	13.9%	—	—	24.5%	—

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
シルバー人材センター運営事業費補助金を交付し、高齢者の就労や社会参加の機会の拡充を図りました。	継続します。
老人クラブスポーツ事業として、生きがいを持ち、健康で活発な高齢者を増やし会員相互の親睦が図られるようスポーツ大会を実施しました。地区の公民館やコミュニティセンター等を拠点とし、自治会や民生委員と連携した介護予防教室を開始し、地域の人同士の交流を図りました。	老人クラブ会員のニーズや大会関係者と意見交換を行い、参加者増加に繋がる大会運営の方法を検討し、スポーツ大会を実施します。地区の公民館やコミュニティセンター等を拠点とした介護予防教室や住民主体の通いの場を増やし、地域の人同士の交流の促進を図ります。

基本目標2 新しいひとの流れをつくる



数値目標

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
転入超過数(年間) ^{※1}	310人	-14人	-151人	270人	↓
昼夜間人口比率 ^{※2}	79.3	—	82.6	84.9	↑

※1 総務省人口動態調査（現状値：H30 目標値：R6）

※2 国勢調査数値（現状値：H27 目標値：R7）

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

魅力あるまちの中心核をつくる

◆具体的な施策

施策	内容
①まちの中心核の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●東郷中央土地区画整理事業や道路改良等を進めることにより、新たな中心市街地を形成します。 ●町全体の低炭素化をリードする先導地区としてふさわしい様々な環境施策を導入し、環境にやさしいまちづくり及びコンパクトなまちづくりを推進します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
便利な魅力のあるまちの中心地がつくられていると感じている町民の割合	47.1%	—	—	64.0%	—

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
地区周辺道路における歩道の整備及び地区内の生活道路の整備を着実に実施し、まちの住環境の核となる基盤整備を進めました。	東郷セントラル地区内の沿道地区に位置付けられている区域において、まちの賑わいを早期に創出するため、当該地区内での商業施設などの立地を促進し、都市機能の充実を図る観点から都市計画の一部を緩和します。

<p>東郷町エコまちづくり計画の推進を図るため、東郷町住宅用地球温暖化対策設備導入促進費の補助枠を一部拡大しました。</p> <p>燃料電池枠 R2 5件 →R3 10件</p> <p>実績 R2 5件 →R3 10件</p> <p>蓄電池枠 R2 15件 →R3 20件</p> <p>実績 R2 15件 →R3 20件</p>	<p>東郷町エコまちづくり計画の推進を図るため、東郷町住宅用地球温暖化対策設備導入促進費の補助枠を一部拡大します。</p> <p>燃料電池枠 R3 10件 →R4 20件</p> <p>蓄電池枠 R3 20件 →R4 31件</p> <p>HEMS 枠 R3 10件 →R4 15件</p> <p>一体型枠 R3 20件 →R4 32件</p> <p>ZEH 枠（新設） R3 0件 →R4 10件（6.1開始）</p>
---	--

まちの魅力の発信と交流・定住を促進する

◆具体的な施策

施策	内容
①シティプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報紙・ホームページの充実やシティプロモーション動画の活用により、本町の魅力を効果的に発信します。 ● SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やAI等の新技術を活用した情報発信を推進します。
②職場体験等の受入れの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 職業意識形成に資する支援のほか、地元の職場としての魅力を発信するため、地域の将来を担う若者の職場体験等の受入れを積極的に推進します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
東郷町が住みやすいと感じている町民の割合	66.5%	—	—	73.0%	—
定期的に町のホームページを見ている人の割合	10.3%	—	—	28.0%	—

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
Instagram を中心とした各種 SNS を活用することで町の魅力を発信するとともに、町にゆかりのある方を東郷町公式 SNS アンバサダーに委嘱し、行政ではない目線での魅力発信を行いました。	Instagram を中心とした各種 SNS を活用した町の魅力発信を進めます。また、シティプロモーション業務委託をしている中京テレビによるテレビでの PR や、すこやかフェスタへの出展等、町外の方への魅力発信を行います。
インターンシップとして大学生を3名受け入れました。	引き続き、地域の将来を担う若者のインターンシップや職場体験の受け入れを積極的に推進します。

ふるさと納税を活用して地域活性化を図る

◆具体的な施策

施策	内容
①東郷ふるさと寄付の返礼品拡充	●町内企業等の協力を得ながら返礼品の拡充を図り、本町への寄付の促進、町の魅力の発信、産業のさらなる振興等を推進します。

◆K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
東郷ふるさと寄付の返礼品数	38品目	66品目	106品目	拡大	

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
町内事業者に戻礼品登録への提案をし、登録品数を増加させました。	新たな町内事業者に戻礼品登録への提案をするとともに、既に登録済みの事業者へも新たな商品の登録の検討を打診します。

基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



数値目標

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
合計特殊出生率	1.50 ^{*1}	1.58	1.35	1.8 ^{*2}	↓
安心して子どもを産み育てられると考える町民の割合	50.0%	—	—	53.0%	—

※1 町独自推計（平成29年度実績）

※2 国、愛知県の人口ビジョン同様に目標年次を令和12年（2030年）とする。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

妊娠・出産を支援する

◆具体的な施策

施策	内容
①妊娠・出産の支援	●妊婦健診や不妊治療費の助成、不育症に対する支援、相談体制の充実を図ります。
②青少年を対象とした乳幼児とのふれあいの機会の充実	●園児と中高生の交流等を推進し、青少年が子どもとふれあう機会の充実を図ります。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
初産婦のパパママ教室参加率	43.9%	中止	33.6%	50.0%	↓

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
妊婦検診、不妊治療の助成・不育症に対する支援相談体制の充実を図りました。 妊産婦及び乳児健診のほか及び妊娠後期にマタニティコール、産後に全妊婦を対象にハッピーコールを行い、妊娠期から子育て期への切れ目ない支援を実施しました。	妊産婦及び乳児健診等の助成を継続していきます。 妊婦健診不妊治療の助成・不育症に対する支援相談体制の充実を図ります。 妊婦とそのパートナーを対象とした教室及び相談体制の充実を図ります。
中学生の職場体験を受け入れ、乳幼児親子のイベント等で触れ合う機会を創出しました。	引き続き、中学生と乳幼児が触れ合う機会を創出していきます。

安心して子育てができる環境をつくる

◆具体的な施策

施策	内容
①子育て世帯の経済的負担の軽減	●第三子保育料無料化や18歳までの医療費無料化等を継続し、子育て世代の負担軽減を図ります。
②子育て支援の充実	●放課後子ども教室や放課後児童クラブ、相談援助体制の拡充等、多様な子育て支援施策の推進を図ります。
③小中学校における教育内容や教育環境の充実	●グローバルな競争環境や社会の変化に対応できる子どもたちを育むため、小中学校においてICT環境の整備や英語教育の充実等を進めます。 ●給食費の負担軽減や食物アレルギーの有無に関わらず、全ての児童生徒が学校生活を安全・安心に過ごせるよう取り組みます。 ●地産地消食材や有機栽培野菜の使用を拡大するとともに、給食による栄養充足率のさらなる向上に努め、「食の安全・充実」を図ります。
④保育サービスの向上	●病児・病後児保育や一時保育等の充実を図るとともに、保育園の改修を進めます。
⑤子育て支援情報の発信	●広報・ホームページ、子育てガイドブック、子育て支援専用サイトやスマホアプリ等の多様な媒体を通して、子育て支援情報を定期的に発信します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
保育所待機児童数	0人※	0人	0人	0人	➡
子育て支援サービスに満足している町民の割合	30.2%	—	—	37.7%	—

※ 平成31年4月1日現在

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
<p>子どもが18歳になる歳の年度末まで、通院・入院医療費の窓口負担を助成する「子ども医療費助成制度」により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図りました。</p>	<p>子どもが18歳になる歳の年度末まで、通院・入院医療費の窓口負担を助成する「子ども医療費助成制度」により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。</p> <p>また、東郷町の将来を担う子どもや学生の希望ある未来の一助となるよう、新たに学校教育法に規定する大学、高等専門学校等（大学院を除く）に通う者の入院に係る医療保険自己負担分を支給します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度よりこども家庭支援員を配置し、相談援助体制の拡充を図りました。 ・放課後子ども教室及び放課後児童クラブを実施し、児童の健全育成を推進しました。また、夏休みに、「小学生アクティビティ・プログラム」を開催し、英語等への興味・関心を引き出すきっかけづくりを行い、学習支援を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回支援専門員として、心理士を配置し、保育園や放課後児童クラブへの巡回等支援を実施します。 ・引き続き、放課後子ども教室及び放課後児童クラブを実施し、子育て支援の推進を継続するとともに、学習支援や両事業の一体的な実施についても検討していきます。
<p>小学校及び中学校にICT支援員を配置し、タブレットを活用したICT教育を促進しました。また、オーストラリアとのオンライン交流授業を実施し、国際理解教育に取り組みました。</p>	<p>引き続きICT教育を促進します。また、海外との交流授業は、実施相手国及び実施校を検討します。</p> <p>英語教育については、町内保育園で実施している英語活動の流れを止めないような事業展開を検討します。</p>
<p>給食費の一部を公費負担し、保護者の負担を軽減しました。児童生徒の食物アレルギーの対象食材をすべて除いたにこにこ給食を、学期に2回実施しました。東郷町産食材と東郷町産有機野菜を給食に取り入れました。</p>	<p>引き続き、にこにこ給食を学期に2回実施していきます。地産地消食材については、提供回数、使用量、活用方法の拡大に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・日進おりど病院で病児保育を実施しました。 ・町内3か所の保育所等で一時預かり事業を実施しました。 ・町内1か所の認定こども園で祝日保育を実施しました。 ・町立保育園で外国人講師による英語活動を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した和合保育園を民営化し、私立の幼保連携型認定こども園の建設を支援します。 ・町立保育所の民営化方針により、特色ある保育を実施する民間事業者の誘致を進めます。
<p>広報紙やホームページ、町公式LINE等の媒体を通して、子育て支援情報を定期的に発信しました。</p>	<p>広報紙やホームページの他、町公式LINEや町公式子育て支援LINE等を積極的に活用し、引き続き、子育て支援情報を定期的に発信していきます。</p>

ワーク・ライフ・バランスを推進する

◆具体的な施策

施策	内容
①女性の活躍推進	●女性の就労支援とキャリア形成を促進するため、女性の活躍推進に関連するセミナーを開催します。
②ワーク・ライフ・バランスの推進	●町民や事業者に対し、ワーク・ライフ・バランスの推進に係る情報提供と意識啓発を推進します。
③男女共同参画を進める意識づくり	●東郷町男女共同参画プランに基づき、職場・地域・学校・家庭等、社会のあらゆる領域で男女共同参画を推進するための取組を実施します。

◆K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
女性の活躍推進に関するセミナー参加者数	21人	中止	中止	30人	↓
パパママ教室の男性参加率	37.5%	中止	31.8%	50.0%	↓
女性の就業率(25歳から44歳) ^{※1}	70.3%	—	76.7%	73.1% ^{※2}	↑

※1 国勢調査数値（現状値：H27 目標値：R7）をもとに算出

就業率＝（就業者／25歳から44歳の人口）×100で算出（分母から「労働力状態不詳」を除く）

※2 県の値（H27国勢調査数値）

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
<p>東郷町まちづくり提案事業で「男女共同参画推進事業」をテーマとした提案団体と委託契約を行い、働きながら子育てをしている女性に向けた研修等を実施しました。</p> <p>また、再就職を考えている子育て中の女性等に対して、愛知県が主催する無料出張相談を東郷町で開催し、育児と仕事の両立などに不安や悩みを抱えている女性をサポートしました。</p>	<p>引き続き、各種研修や相談等を開催し、女性の活躍推進を目指します。</p>
<p>東郷町男女共同参画情報誌「イーストピア」で男女共同参画推進の啓発を行い、また、役場のホールに男女共同参画啓発パネルを掲示することで、ワーク・ライフ・バランスの推進に係る情報提供や意識啓発を行いました。</p>	<p>引き続き、イーストピアや男女共同参画パネルにより、情報提供や意識啓発を行い、ワーク・ライフ・バランスを推進します。</p>

東郷高校で、生徒及び一般向けに、すべての人が性別に関わりなく個性と能力を発揮できる社会について考える「みんなで目指すジェンダー平等」の講演会を開催しました。

男女共同参画事業の講演会や映画会を開催することで、男女共同参画への理解を促進していきます。

基本目標4 安心して暮らせる魅力的な地域をつくる



数値目標

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
東郷町に住み続けたいと考える町民の割合	81.7%	—	—	85.3%	—
健康寿命の延伸	男性 80.90歳※ 女性 84.55歳※	—	—	延伸	—

※ 平成27年国勢調査数値を基に算出（いきいき東郷21（第2次））

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

公共交通の基盤整備・機能強化を進める

◆具体的な施策

施策	内容
①巡回バスの充実と公共交通の利用促進	●東郷町地域公共交通網形成計画に基づき、鉄道、路線バス、巡回バス及びタクシーが相互に補完し合い、住民の生活行動に応じた利用しやすく、合理的かつ効率的な公共交通ネットワークを形成します。
②バスターミナルの整備と新たな交通網形成の推進	●まちの中心にバスターミナルを整備し、公共交通の連携を図り、自家用車がなくても移動しやすいまちを形成します。
③新たなモビリティサービスの活用	●バス・タクシー運行時におけるAIや自動運転技術、様々な移動を1つの移動サービスとして捉えるMa a S等の新たなモビリティサービスの活用を検討します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
じゅんかい君の総合的な満足度	53.3%	61.4%	—	69.0%	➔
バス等の公共交通機関の整備に満足している町民の割合	13.4%	—	—	21.6%	—

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
東郷セントラル地区のバスターミナルを交通結節点とした巡回バスの路線再編を行い、また、商業事業者と連携して利用促進イベントを実施しました。	路線再編後の乗降データや利用者意見を集約し、交通の課題の整理を行います。また、引続き商業事業者と連携した利用促進イベントを実施します。
バスターミナルの整備に伴い、幹線バスのバスターミナル乗入れ、じゅんかい君路線再編、東郷・藤田医大バスの新規運行を行いました。	バスターミナルを活用し、町内各地域及び尾三地区等の広域的な連携・交流を強化するため、近隣自治体やバス事業者等と協議を行います。
高齢者・障がい者の移動手段の確保を図るため、デマンド型交通の実証実験を行いました。	デマンド型交通の実証実験の結果を踏まえ、新たなモビリティサービスの本格導入を実施します。

郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む

◆具体的な施策

施策	内容
①地域文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統行事や祭り、文化財等の保存・活用、各種教室の開催等により、地域文化の継承・振興を図ります。 ●中学生や高校生に対し、「ふるさと教育」を推進することにより、まちに対する愛着と誇りを醸成し、定住促進につなげます。

◆K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
地域で共に助け合い、支え合う風土があると考える町民の割合	30.3%	—	—	34.0%	—

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
東郷町民に古くから親しまれる盆踊りや、東郷町の伝統芸能、文化財に触れる機会を提供するためのイベントを各種実施しました。	前年度同様、盆踊りや、東郷町の伝統芸能、文化財に触れる機会を提供すると共に、昨年度未実施となった町民納涼まつりを開催します。
LivR TOGO まちの窓口での東郷町文化協会による各種作品展示や町が積極的に取り組む給食・環境保全・公園開発等の取り組みを紹介しました。	東郷町文化協会による各種作品展示や文化協会と連携したワークショップを開催します。また、引き続き町の特色ある事業や取組を紹介します。

地域の安全・安心を強化する

◆具体的な施策

施策	内容
①地域防災の推進	●自主防災組織の育成や消防団の充実・強化、風水害や地震災害に対応する総合防災訓練の実施等により、地域の防災力を高め、災害に強いまちを形成します。
②企業との連携強化による防災力の向上	●大規模災害発生時に迅速に応急対策を行えるよう、民間企業や団体等との災害協定の締結を進めます。
③安全・安心なまちづくり	●交通事故や犯罪の軽減のため、交通安全対策や青色パトロールカー巡回等を推進します。 ●防犯対策の強化のため、防犯灯の整備充実やLED化、防犯カメラの設置、地域の見守り体制の充実等を推進します。

◆K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
普段から防犯に心がけている町民の割合	65.1%	—	—	74.0%	—
地震や風水害等の災害に備えている町民の割合	39.6%	—	—	46.0%	—

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
<p>自主防災組織の活動に関する助成を行うとともに、消防団の出動報酬の改定を行い、人員確保に努めました。</p> <p>また、町HPや広報紙による防災情報の周知に加え、避難所運営訓練など各種訓練、地区防災訓練での職員講話、小学校での防災教育などを実施し、地域へ防災の重要性を周知しました。</p>	<p>引き続き、訓練の実施を行い、災害発生時に迅速な対応を執ることができる体制整備に加え、地域住民自らも災害に備えていただけるよう、自助・共助の重要性を周知していきます。</p>
<p>15の企業等と8件の災害協定を締結しました。</p>	<p>引き続き、平時及び災害時に協力いただける企業との協定を締結していくとともに、良好な関係を継続できるよう情報交換等を行っていきます。</p>
<p>交通事故や犯罪軽減のため、青色パトロールカーで巡回し広報活動を行うとともに、交通安全教室やイベントで啓発活動を行いました。また、ドライブレコーダーやヘルメットの購入費に対し、助成を行いました。</p>	<p>引き続き、巡回広報活動を実施し、交通安全教室等で交通安全啓発活動を実施していきます。</p>

防犯対策強化のため、防犯灯を新規で 85 基設置しました。また、特殊詐欺対策電話の購入費に対し、助成を行いました。	引き続き、防犯対策強化のため防犯灯を新規設置していきます。
---	-------------------------------

産官学等の連携を強化する

◆具体的な施策

施策	内容
①大学等との連携	●誰もが健康で元気に暮らせるよう、産官学等の連携による健康づくり等を支援します。
②自治体間の行政連携	●防災等、近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野において、尾三地区自治体間連携により事業の推進を図ります。

◆K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
大学等と連携して取り組む事業数(累計)	5事業	12事業	16事業	8事業	➡
近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野で新たに連携が行われた件数(累計)	9件	9件	10件	拡大	➡

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
<p>LivR TOGO まちの窓口での名古屋柳城大学生による絵本読み聞かせ会や愛知淑徳大学生による TikTok を活用した動画投稿イベントを開催し、本町の魅力発信を行いました。</p> <p>尾三地区で市町税等の滞納整理を推進するため、新たに「愛知尾三地区滞納整理機構の共同実施に関する協定」を締結しました。</p> <p>また、自治体間連携推進研究会で、総務省地域情報化アドバイザーを講師とした研修「住民目線で作る自治体 DX」に参加しました。</p>	<p>愛知大学や昨年度に引き続き名古屋柳城大学等の大学との連携を進めることで、大学における人材育成を支援するとともに、若年層の柔軟な視点を効果的なシティプロモーションに活用していきます。</p> <p>引き続き検討中のテーマについて研究を進めるとともに、新たなテーマの抽出についても検討を進め、地域社会の持続的な発展、地域課題への対応及び地域交流の活性化を図ります。</p>

誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

◆具体的な施策

施策	内容
①健康づくり支援	●町民の健康づくりのため、がん検診・特定健診の実施や、生活習慣病予防・介護予防を推進します。
②運動・スポーツの習慣化支援を通じた健康づくり	●スポーツ分野と医療・介護・福祉分野の連携により、スポーツを通じた健康づくりを支援します。 ●町民レガッタの開催等を通じて、スポーツを通じた交流の促進を図ります。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和2年度	令和3年度		
特定健診受診率	45.4%	39.8%	43.4%	60.0%	↓
胃がん検診受診率	13.7%	7.8%	10.5%	50.0%	↓
乳がん検診受診率	28.1%	20.5%	20.7%	50.0%	↓
成人の週1回以上運動・スポーツをしている町民の割合	39.1%	—	51.8%	60.0%	↑

令和3年度の主な取組	今後の主な取組
町民の健康づくりのため、がん検診・特定健診の実施や、生活習慣病予防・介護予防を推進しました。	町民の健康づくりのため、がん検診・特定健診の実施や、生活習慣病予防・介護予防を推進します。
受診勧奨通知の発送、40～64歳の保健指導対象者へICT保健指導の実施、65～74歳の保健指導対象者へ電話による利用勧奨、保健指導対象者へ生活改善支援、医療機関から紹介があった特定健診受診者へ管理栄養士による栄養相談、糖尿病性腎症重症化予防事業を行いました。	特定健診の受診率及び特定保健指導の実施率の向上に努め、町民が自身の生活改善に取り組む機会を増やし、健康的な生活習慣を獲得できるように支援します。
スポーツ推進委員と連携を取りながら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。 東郷町スポーツ推進計画の中間見直しを行い、町民を対象にアンケートを実施しました。	各スポーツイベントを安心・安全に開催できるよう、スポーツ関係団体と感染症防止対策の情報共有を行い、対人距離の確保等「新しい生活様式」に対応した大会等の実施方法を検討していきます。